

都市基盤分野

都市
基盤分野

産業分野

教育分野

I 3 交通体系の充実 広域交通体系の整備・充実

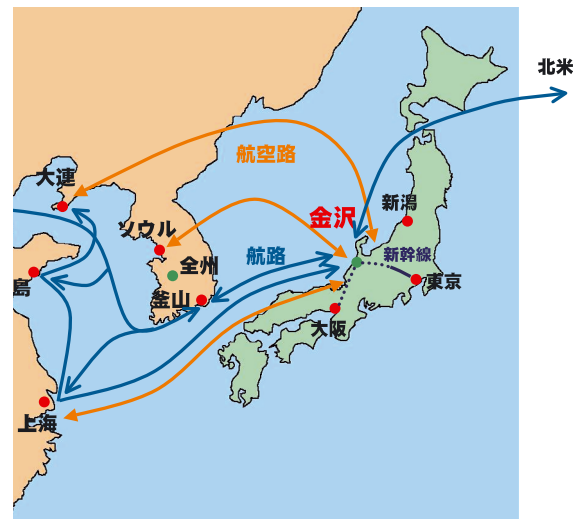
現状と課題

金沢市内には金沢港や北陸自動車道等の広域交通体系が整備されているほか、小松空港を通じて国内各地とのネットワークが形成され、北陸地域の拠点性向上に寄与しています。今後、北陸新幹線の開業によって広域交通体系の大きな変化が予想されるほか、行政区域を越えた地域間相互の連携強化や産業振興、災害時の代替性の向上等はますます必要になってくると考えられます。そのためにも、様々な交通機関による広域的な交通体系の整備・充実を図っていくことが求められます。

■東海北陸自動車道



■国際航路・航空路



基本方針

石川県内の連携強化、県外との交流拡大による人・モノ・情報の活発な交流や生活、産業、文化等の様々な活動の広域的な連携を推進するとともに、災害や雪に強い安全で安心な地域づくりを進めるため、広域交通体系の整備・充実を図っていきます。

事業計画（主な事業とその内容）

〔東海北陸自動車道、中部縦貫・北陸関東広域道路の整備促進〕

東海北陸自動車道は東海地方と、また中部縦貫・北陸関東広域道路[※]は関東地方とを最短距離で結ぶ道路であり、北陸と三大都市圏との交流促進に向けて、沿線自治体と連携を図りながら、早期開通を働きかけていきます。

〔圏域道路の整備促進〕

行政区域を越えた地域間相互の多様な交流・連携を促進するため、金沢能登連絡道路、加賀海浜道路、金沢福光連絡道路など、能登や加賀、富山方面とのアクセス道路の整備促進を図ります。

〔行政区域を越えた公共交通網の充実〕

既存鉄道の活性化を図るとともに、北陸新幹線の整備促進や金沢港のフェリー航路開設など、広域公共交通ネットワークの拡充に向けた働きかけを行っていきます。また、新幹線開業により、航空旅客需要が新幹線にシフトするものと予想されることから、国際線の拡充や貨物取扱量の拡大など、小松空港に関する今後の課題や対応策について、県や関係機関と協力して検討していきます。

市民参加と協働

- 沿線自治体や地域住民との連携・協力による整備推進

※中部縦貫・北陸関東広域道路
中部縦貫自動車道、地域高規格道路（小松白川連絡道路及び富山高山連絡道路）及び一般国道などで構成され、東海北陸自動車道や中央自動車道との連携により、北陸・飛越及び甲信地域と関東地方を最短距離で結ぶ幹線道路の総称。

都市基盤分野

都市
基盤分野

産業分野

教育分野

I 3 交通体系の充実 都市圏・都市内道路の整備・充実

現状と課題

金沢市では交通の広域化に対応するため、内・中・外環状道路*を中心に、都心から放射状に伸びる道路やそれらを補完する幹線道路、地域間を結ぶ道路など、総合的な交通体系の確立に向けて整備を進めてきました。しかしながら、市街地の交通状

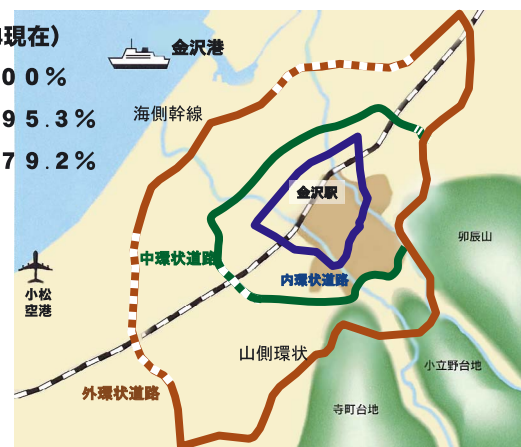
況は依然として朝夕の通勤時間帯の交通混雑、交差点付近での慢性的な交通渋滞、城下町特有の狭隘で複雑な道路構造による防災対応の遅れなど、多くの課題が残されています。



山側環状

■環状道路の整備

供用率 (2006.4現在)
内環状道路 100%
中環状道路 95.3%
外環状道路 79.2%



*環状道路
外環状道路 (L=44,920m) : 市街地の外郭を走り、都市圏間を結ぶ走行性の高い広域幹線道路。
中環状道路 (L=19,425m) : 市街地内部を半径約3kmでループし、外環状道路から流入する交通と都市内交通を支える道路。
内環状道路 (L=13,200m) : 都心部を半径約1.5kmでループし、都心部を支え、中環状道路とともに市街地の骨格をなす道路。

基本方針

金沢都市圏の道路交通の骨格となる内・中・外環状道路の整備を進めるとともに、地域の実情や課題に対応した道路整備を推

進めます。これらの交通容量の拡大だけでなく、交通需要を調整することによって、道路利用の効率化・円滑化をめざします。

事業計画 (主な事業とその内容)

〔外環状道路の整備〕

国、県、近隣市町と連携しながら、外環状道路海側幹線の未整備区間の早期開通及び金沢東部環状道路の4車線化を進めます。

〔内・中環状道路の整備〕

都市計画道路小立野古府線、疋田上荒屋線等の整備を行い、円滑で安全な都市内交通を実現します。

〔主要幹線道路の整備〕

市街地の慢性的な交通渋滞の緩和に向けて、特定路線への交通集中の是正、分散誘導を図るための道路整備を行います。また、ボトルネックとなっている交差点の改良を行い、歩行者や自転車交通の安全対策を進めます。

〔その他の道路の整備〕

郊外道路における狭隘、急カーブ、急勾配、未舗装等の交通危険箇所の整備に努めるとともに、交通アクセス、回遊性の向上、集落間の連絡強化に向けた道路整備を行います。

〔TDM (交通需要マネジメント) 施策の推進〕

パーク・アンド・ライドシステムの導入や住宅地と交通結節点を循環するコミュニティバスの運行等により、輸送効率の良い公共交通の利用を促進し、道路利用の効率化・円滑化をめざします。

市民参加と協働

- ・市民による自主的なマイカー利用の自粛

都市基盤分野

都市
基盤分野

産業分野

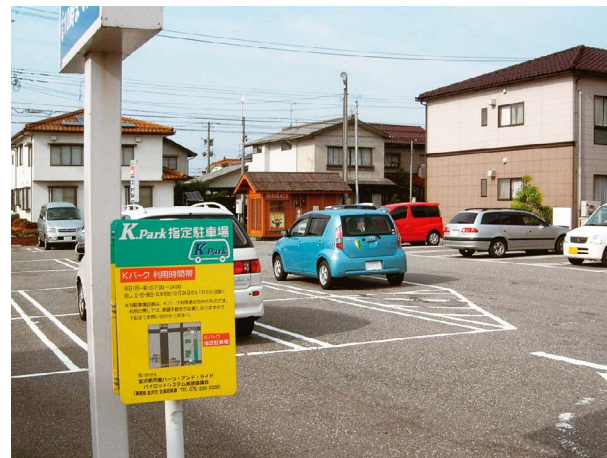
教育分野

I 3 交通体系の充実 駐車場対策の推進

現状と課題

中心市街地では、住宅や店舗、事務所の建物除去に伴って、小規模で無秩序な駐車場化が進行しています。そのまま放置しておけば、都市機能の低下や魅力の喪失、コミュニティの崩壊など、中心市街地の空間

化に拍車をかける恐れがあります。また中心部の国道157号では、荷捌き車両の路上駐車や駐車場を探す迷走車、駐車場の入庫待ち行列等が見られ、交通渋滞を引き起こす要因となっています。

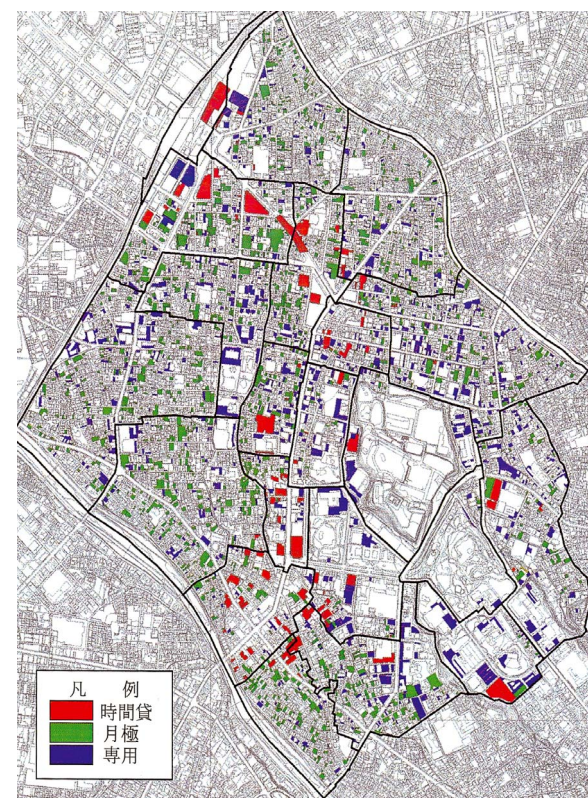


パーク・アンド・ライド駐車場



荷捌き駐車場

■まちなか駐車場の種類別分布 (H15)



凡 例
■ 時間貸
■ 月極
■ 専用

基本方針

交通渋滞の緩和と歩行者の安全性向上等に向けて、駐車場の適正な配置をめざします。また、違法駐車等防止重点地域での荷

捌き車両の路上駐車の排除、駐車場の的確な満空情報の提供により、交通の円滑化を図ります。

事業計画 (主な事業とその内容)

〔駐車場設置に対する助言・指導・援助〕

中心市街地への自動車の流入を誘引する新規駐車場の設置を控えるとともに、住宅地内への通過交通の流入を防ぐため、駐車場設置者に対して助言・指導・援助を行います。

〔荷捌き駐車場の整備〕

月極駐車場を借り上げて荷捌き駐車場を確保するとともに、月極駐車場を借りて荷捌きを行っている団体に対する助成を行います。

〔駐車場案内システムの充実〕

駐車場を探す迷走車や駐車場の入庫待ち行列を解消するため、情報通信技術を活用したより有効な駐車場情報の提供をめざします。

〔都心軸における業務用駐車場の集約〕

南町界隈の裏通りに立体駐車場の整備を促すことによって、中心市街地の業務環境の向上を図るとともに、住宅地区内に散在する業務用駐車場の集約を図ります。

〔パーク・アンド・ライド駐車場の設置〕

中心市街地への自動車の流入を抑制するため、郊外の利便性の高い場所にパーク・アンド・ライド駐車場を設置します。

市民参加と協働

- ・土地所有者との協働による住宅地における業務用駐車場の排除
- ・マイカー通勤の自粛協力と公共交通の利用促進

都市基盤分野

都市
基盤分野

産業分野

教育分野

I 3 交通体系の充実 公共交通の活性化

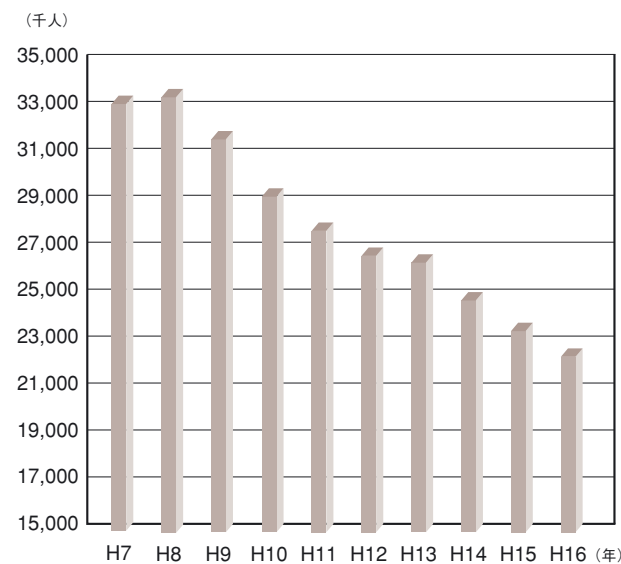
現状と課題

金沢市ではモータリゼーションが進行し、道路整備の進捗を上回る勢いでマイカーが増加しています。このため、市内各所で交通渋滞が発生し、交通環境と自然環境の悪化を招いています。一方、自動車交通の増加に反比例して、バス交通をはじめとした公共交通の利用者は減少を続けており、公共交通によるサービス提供の維持が困難になる恐れがあります。

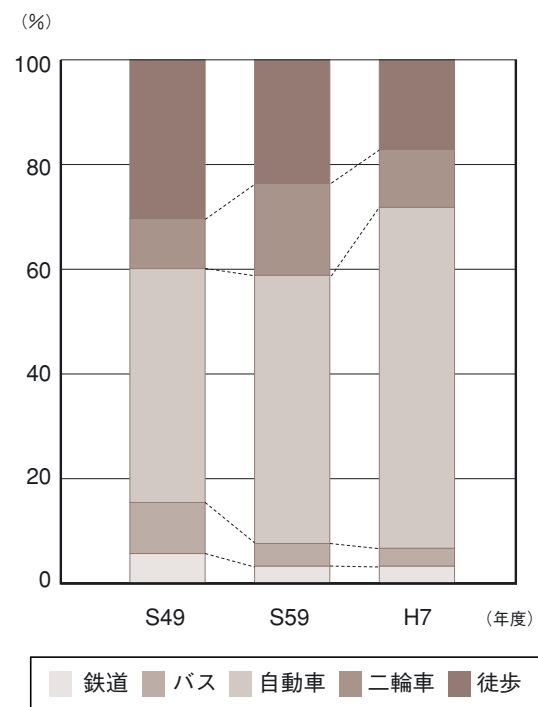


金沢ふらっとバス（材木ルート）

路線バス年間利用者数の推移（市内線 過去10年間）



都市圏総トリップの利用交通手段構成



基本方針

公共交通が有する多様な社会的意義を最大限に発揮したまちづくりを推進し、人と環境にやさしい交通を実現するために、公共交通の活性化と利用促進を図ります。

事業計画（主な事業とその内容）

〔バスの魅力・利便性の向上〕

運賃体系の改善、多様な割引システムの導入、ICカードの多機能化等によりバスの魅力を高めるとともに、バリアフリー化の推進、情報通信技術を活用したバス運行情報の充実、公共交通優先システム（PTPS）*の導入など、バスの利便性向上を進めます。

〔ふらっとバスの運行〕

中心市街地の交通不便地域の解消や高齢者等の移動支援を目的とした「ふらっとバス」が、より多くの市民に利用されるよう見直し、中心市街地の活性化と地域のコミュニティ形成に結びつけていきます。

〔交通結節機能の強化〕

西金沢駅の自由通路、駅西広場等の整備を行い、交通結節機能の強化を図っていきます。また、パーク・アンド・ライドシステムの拡充を図るなど、中心部と郊外部を結ぶ公共交通の充実をめざします。

〔既存鉄道の活用〕

新幹線の開業に伴う並行在来線のあり方を検討するとともに、バスとの連携を図りながら北陸鉄道石川線・浅野川線の活用を検討していきます。

〔新交通システムの導入検討〕

北陸新幹線の開業を見据え、定時に優れた魅力ある新交通システムの導入に向けて、導入空間の確保や初期投資、採算性等の検討を行います。

市民参加と協働

- ・地域住民の積極的なバス利用による路線の維持

*公共交通優先システム (PTPS)
優先信号制御や優先レーンの設定により、公共車両を優先的に運行させ、バス利用者等の利便性の向上を図るシステム。

都市基盤分野

都市
基盤分野

産業分野

教育分野

I 3 交通体系の充実 歩行者・自転車等の環境整備

現状と課題

金沢市内には細街路や用水に沿った小路が多く存在します。しかし、これらの細街路にも自動車が入り込み、歩行者の安全確保が難しい状況にあります。こうした状況は、もともと道が持っていたコミュニティ空間や賑わい空間としての機能を損なわせる恐れがあります。

一方、自転車は手ごろで環境にやさしい交通手段ですが、駅等では路上に放置している自転車が見られ、交通の妨げになっています。



歩けるまちづくりの推進（堅町商店街）



サイクル&ライドの利用状況

基本方針

自然や歴史、文化等のまちの特性を活かしながら、市民が安全かつ快適に歩ける交通環境を整えるとともに、市民の歩く意識の醸成に努め、回遊性の向上による歩ける

まちづくりの推進に努めます。また、自転車放置禁止区域を定め、放置防止指導と放置自転車撤去により、安全で快適な交通環境を築きます。

事業計画（主な事業とその内容）

〔歩けるまちづくりの推進〕

歩行環境の改善や通過交通の抑制により歩きやすい道の連続性を確保し、回遊性の向上によるまちの賑わい創出を図ります。

〔歩行空間ネットワーク整備事業の推進〕

金沢駅西広場や西金沢駅周辺等の交通拠点及び学校・公園・福祉施設等の主要施設を多く含む地区から、歩行者空間を重点的に整備します。

〔無電柱化の推進〕

道路管理者及び電線類管理者と協議し、歩行環境の改善に向けて「北陸地方無電柱化協議会」との調整を図りながら、無電柱化を推進します。

〔まちを歩く意識の醸成〕

まちを歩くことによって自らのまちを知り、まちへの愛着を深めることで地域コミュニティの醸成を図るとともに、過度のマイカー依存による生活からの転換を図るなど、歩けるまちづくりを推進します。

〔自転車交通の推進〕

サイクル・アンド・ライドの推進や放置自転車の防止に向けて、駅やバス停、繁華街付近に駐輪場を整備します。また、自転車放置禁止区域を定め、指導員による放置防止指導と放置自転車の撤去を実施するなど自転車交通に関するマナー向上を図ります。

市民参加と協働

- ・地域住民等による「歩けるまちづくり構想」の策定と協定の締結
- ・地域住民、電線管理者との連携・協力による無電柱化
- ・自転車利用マナーの向上